

## 2016 年度車いす安全整備士養成講座 開催報告

初めに

2010 年 10 月に第 1 回を開始した車いす安全整備士養成講座も、2017 年 2 月を以て、開催回数が 35 回に至りました。つきましては、今年度も 2016 年度の総括として、本開催報告を掲載致します。

### 1. 2016 年度開催履歴（受講者数は再試験者を除いた数）

計画講座	開催日	開催場所	受講者数
第30回車いす安全整備士養成講座	2016年5月14日(土)・15日(日)	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	60名
第31回車いす安全整備士養成講座	2016年7月 9日(土)・10日(日)	協同組合仙台卸商センター（卸町会館）	39名
第32回車いす安全整備士養成講座	2016年9月10日(土)・11日(日)	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	56名
第33回車いす安全整備士養成講座	2016年10月8日(土)・9日(日)	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール	42名
第34回車いす安全整備士養成講座	2016年12月17日(土)・18日(日)	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	52名
第35回車いす安全整備士養成講座	2017年2月11日(土)・12日(日)	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	53名

### 2. プログラム

1日目		2日目	
	内容		内容
9:00～9:10	開校式	9:00～10:00	車いすの組立 (実技・担当講師による指導)
9:10～10:15	手動車いすの規格 (座学) 別室にて実技再試験※1	10:00～12:05	車いすの点検～調整 (実技・担当講師による指導)
10:20～12:00	車いすの機能 (座学)	12:05～13:00	昼休み
12:00～13:00	昼休み	13:00～13:50	試験勉強時間 (筆記・実技どちらでも可)
13:00～14:30	メンテナンス基礎知識と 車いすの整備概論 (座学)	13:50～14:25	筆記試験
14:45～18:20	車いすの分解 (実演・実技)	14:35～16:00	実技試験
18:30～19:00	ナイトセミナー※2 (お弁当付)	16:10～16:35	筆記自己採点
		16:35～17:00	閉校式 (修了証授与)

※上記は神戸開催時のプログラムであり、他開催の時はプログラムが若干異なる。

### 3. 講習の様子

関西開催（ニチイ学館 神戸ポートアイランドセンター）



東北開催（卸町会館）



関東開催（障害者スポーツ文化センターラポール）



4. 参加者数・合格率

(1) 2010年～2016年 総合 参加者・合格率データ (2016年度は第30～35回)

受講回	受講者数	合格	不合格	合格率
第1回	25	21	4	84.0%
第2回	42	42	0	100.0%
第3回	32	20	12	62.5%
第4回	25	25	0	100.0%
第5回	33	26	7	78.8%
第6回	30	27	3	90.0%
第7回	22	20	2	90.9%
第8回	37	31	6	83.8%
第9回	27	18	9	66.7%
第10回	16	10	6	62.5%
第11回	38	26	12	68.4%
第12回	33	16	17	48.5%
第13回	42	33	9	78.6%
第14回	44	29	15	65.9%
第15回	41	25	16	61.0%
第16回	45	24	21	53.3%
第17回	45	30	15	66.7%
第18回	33	25	8	75.8%
第19回	35	23	12	65.7%
第20回	31	20	11	64.5%
第21回	47	28	19	59.6%
第22回	51	31	20	60.8%
第23回	51	32	19	62.7%
第24回	51	36	15	70.6%
第25回	36	23	13	63.9%
第26回	56	38	18	67.9%
第27回	54	31	23	57.4%
第28回	60	46	14	76.7%
第29回	71	50	21	70.4%
第30回	69	45	24	65.2%
第31回	39	30	9	76.9%
第32回	64	37	27	57.8%
第33回	42	25	17	59.5%
第34回	60	40	20	66.7%
第35回	62	38	24	61.3%
総計	1489	1021	468	68.6%

## (2) 都道府県別 合格者数及び実技講師認定者数データ

エリア	都道府県	合格者数	エリア別合格者合計数	実技講師認定者数
北海道地方	北海道	10	10	
東北地方	青森県	2	73	
	岩手県	2		
	宮城県	24		2
	秋田県	5		1
	山形県	10		
	福島県	30		1
関東地方	茨城県	14	264	
	栃木県	4		
	群馬県	10		
	埼玉県	19		2
	千葉県	101		
	東京都	91		9
	神奈川県	25		2
中部地方	新潟県	21	135	
	富山県	3		
	石川県	3		
	福井県	1		
	山梨県	4		
	長野県	3		
	岐阜県	44		15
	静岡県	6		
近畿地方	愛知県	50	354	12
	三重県	8		1
	滋賀県	12		
	京都府	47		1
	大阪府	204		29
	兵庫県	63		16
	奈良県	19		5
和歌山県	1			
中国地方	鳥取県	18	49	
	島根県	1		
	岡山県	7		1
	広島県	17		
	山口県	6		
四国地方	徳島県	6	26	
	香川県	7		
	愛媛県	10		
	高知県	3		
九州地方	福岡県	31	84	1
	佐賀県	29		9
	長崎県	5		
	熊本県	5		
	大分県	2		
	宮崎県			
	鹿児島県	7		2
	沖縄県	5		
	不明	26		
総計		1021		109

※上記は受講当時のデータを集計したものです（会社一括申込の場合、本社の住所のみ反映されているものもあります）。

※不明については、アンケートのお願い等で合格後に連絡した結果、所在がわからなかった方の数です。

## 5. アンケート調査総合結果

### (1) アンケート調査 フォーマット

#### 車いす安全整備士養成講座アンケート

一般社団法人日本福祉用具評価センター（JASPEC）

- 受講者の皆様、2日間の講習お疲れ様でした。

車いすをはじめとする福祉用具の安全性を確保し、利用者に安全な用具を安心して使用いただくことを目指す弊センターでは、流通後の福祉用具やカスタムメイド品の安全性も確保するシステムを計画しております。

今般、開催いたしました「車いす安全整備士養成講座」はその第一歩として、まずは、介護保険における手動車いすのメンテナンスを実践できる人材を養成し、サービス担当者会議やモニタリング時に車いすの専門家として、関与していただきたいと考えております。また、将来的には構想中の「車いす車検制度」を支えていただきたいと思います。今回の講習会が皆さまのお仕事に役立ち、車いすについて以前にも増してご興味とご関心が高まったのなら、運営主体とうれしく思います。

今回の開催にあたり、何かと不備なところも多々あったことと存じます。この場を借りてお詫び申し上げます。

今後のことも含め、受講された皆様から率直な御意見を頂きたい、アンケートでのご協力をお願いします。

\*\*\*\*\*

【以下アンケート】

- ① 差し支えなければお名前、所属(会社名)をご記入下さい。

お名前	ご所属	お持ちの資格

- ② 講習会の内容について (理解度、満足度、どちらにも○をお願いします)

- ②-1: 手動車いすの規格

理解度 (・良く理解できた・理解できた・理解できなかった・わからない) 満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ②-2: 手動車いすの機能 (基礎)

理解度 (・良く理解できた・理解できた・理解できなかった・わからない) 満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ②-3: メンテナンスの基礎知識と整備概論

理解度 (・良く理解できた・理解できた・理解できなかった・わからない) 満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ②-4: メンテナンス基礎実技

- ②-4-1 車いすの分解

理解度 (・良く理解できた・理解できた・理解できなかった・わからない) 満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ②-4-2 車いすの組立

理解度 (・良く理解できた・理解できた・理解できなかった・わからない) 満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ②-4-3 車いすの点検・調整

理解度 (・良く理解できた・理解できた・理解できなかった・わからない) 満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ②-5 ナイトセミナー

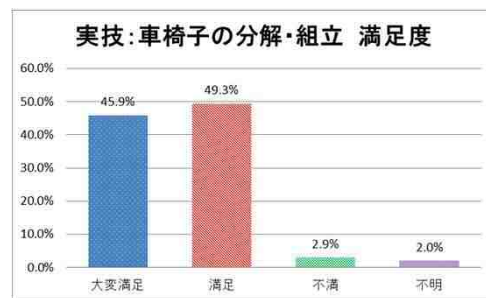
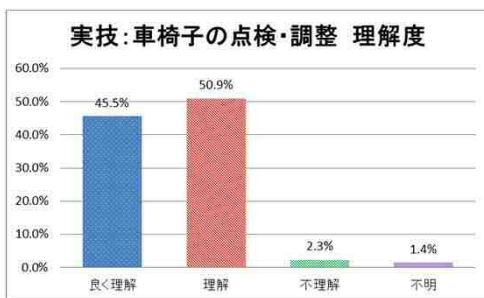
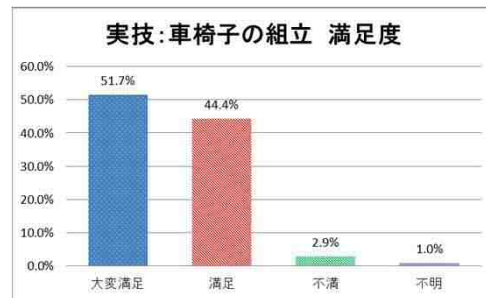
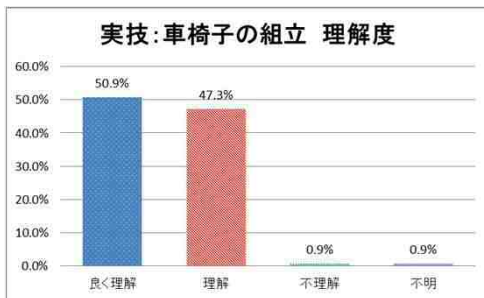
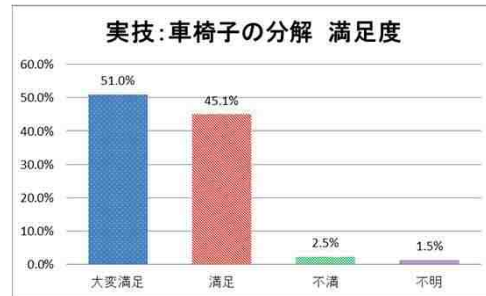
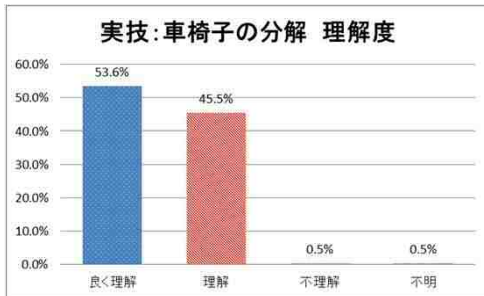
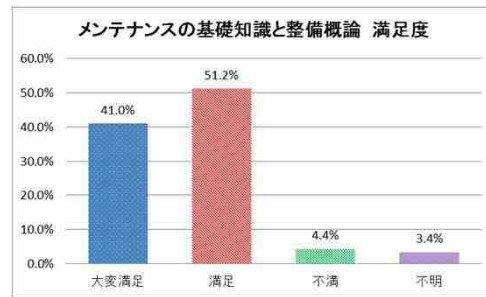
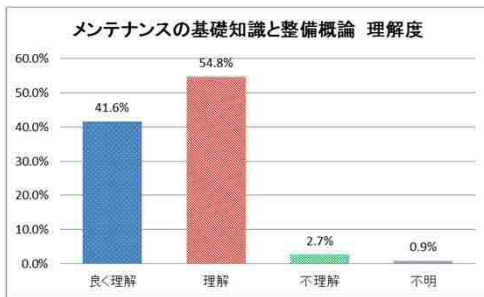
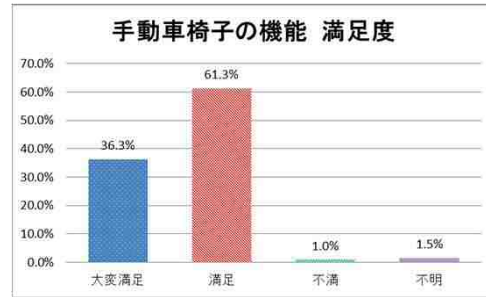
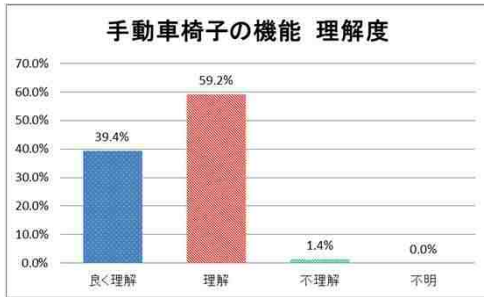
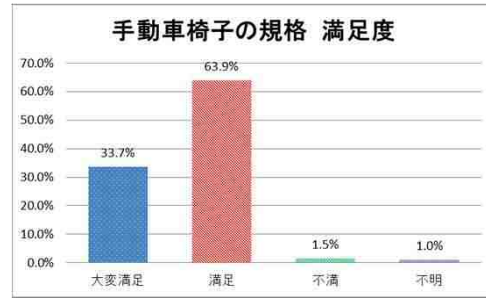
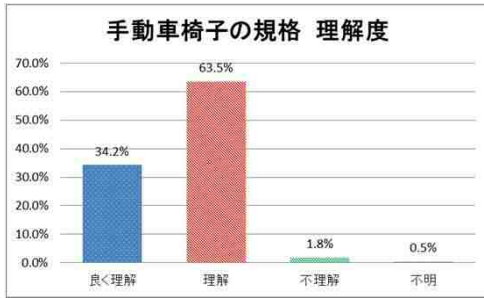
満足度 (・大変満足できた・満足できた・不満・わからない)

- ★上記②項全般についての御意見がございましたらご記入下さい。

その他運営上の問題点などお気づきのことがございましたら、ご記入下さい。

ご協力、ありがとうございました

アンケート集計結果(回答数:224件) ※再受講・再試験者を除く



## 6. 2017 年度開催計画（現在上期のみ公開中）

計画講座	開催日	開催場所	受講料（※2）	定員
第36回車いす安全整備士養成講座	2017年5月20日（土）・21日（日）	久留米リサーチパーク	38,000円	50名
第37回車いす安全整備士養成講座	2017年7月29日（土）・30日（日）	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	38,000円	60名
第38回車いす安全整備士養成講座	2017年9月23日（土）・24日（日）	ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター	38,000円	60名
第39回車いす安全整備士養成講座	関東での開催を予定しておりますが、日程等現時点では未定です。決まり次第掲載いたします。		38,000円	40名
第40回車いす安全整備士養成講座	神戸での開催を予定しておりますが、日程等現時点では未定です。決まり次第掲載いたします。		38,000円	60名
第41回車いす安全整備士養成講座			38,000円	60名

※上記は変更となる可能性がございます。

## 7. 2016 年度総括 及び 2017 年度開催に向けて

文責：一般社団法人日本福祉用具評価センター  
管理部 係長 植松 規

2016 年度開催を終え、一つの目標としていた 1,000 名の合格者数に達しました。これも偏に支えていただいた皆様のお陰です。本講座の推進主体として、この場を借りて御礼申し上げます。

2016 年度では、東北地方での開催を行いました。前年度の九州と同じく、レンタル用車椅子の輸送問題等、様々な問題がある中、何とか開催を実現することが出来ました。しかし、現地で対応出来る実技講師の数が圧倒的に少なく、一時期開催が危ぶまれたということもあり、2017 年度には、東北地方での実技講師育成に向けた取り組みを行う予定としております。そして、九州・東北を 2 年に 1 回ずつ回れるようにし、「全国で開催している車いす安全整備士養成講座！！」と銘打てるよう、より一層の努力を重ねていきます。

講座自体では、プログラムの見直しを行いました。アンケートの結果を見る限り、今までで一番多かったのが、「実技講習の時間が足りない」という意見でした。2 日間で行うにはボリュームがありすぎる講座であり、単純に時間を延ばすということも難しい中、「制動用ブレーキの調整を朝の自習時間にしたい」というアンケートより、「2 日目の朝の自習時間（自由参加）を有効的に活用出来るようにし、自習時間の環境をより充実させる」という観点から、プログラムを見直しました。具体的には、今までは初日終了段階では制動用ブレーキが組み上がっていませんでしたが、制動用ブレーキが組み付いた状態になるよう、全体の時間調整を行いました。この変更により、朝の自習時間により多くの人に参加し、「制動用ブレーキの調整」の習得に向けて練習を重ねているように感じました。

2017 年度に向けた運営上の大きな変更点は、既に HP で告知しているとおり、これまでの観点「基本的な工具で車椅子を整備出来る人材育成」から「安心・安全な車椅子を提供出来る人材育成」という観点到シフトし、これまで講座・試験時ともに使用不可であった、「インナーワイヤープライヤー」を使用可能とすることが挙げられます。

制動用ブレーキ調整時のみに使用する特殊な工具ではありますが、それを使用することで調整が容易になり、「何とかブレーキを効かせること」に注意が行きがちな皆さまに、「効きの微妙な左右差調整も安全な整備には必要」といった点にも注意を払っていただけたと考えております。但し、一般的なホームセンターでは扱っていない工具であり、またすべての方が必要とするものではないことを考慮し、「必須」ではなく「任意」に使用可能なものいたします。

2017 年度は 2 回目の九州開催があります。場所は前回同様、「久留米リサーチパーク」で実施いたします。また、関東での開催も予定しておりますが、現在開催場所確保の関係で、少し公表が遅れております。一刻も早く公表できるよう努めておりますので、今しばらくお待ちください。

今後も本講座が皆様にとって有意義な時間になるよう、車いす安全整備士実行委員会を中心に、より一層の改善に関する議論を重ねていく所存でございます。本講座をより多くの車椅子整備に携わる方へ拡大し、世の中の車椅子をより安心・安全に利用いただける社会実現のため、まだ受講されたことがない方は、是非とも受講の検討の程、よろしく願いいたします。

以上